

霧にご注意を！！

春から夏にかけて霧が多く発生します。

霧の中での航行は、自船や他船の位置が分からなくなり、衝突や乗揚げの危険性が高まりますので、注意してください！！



事故事例

○令和元年5月26日、千葉県犬吠埼沖で、貨物船同士が衝突し、**3名が死亡**、**1名が行方不明**という悲惨な事故が発生しております。当時は**視界不良状態**で、「**濃霧注意報**」が発表されておりました。

○平成29年4月9日、遊漁中のプレジャーボートが濃霧により自船の位置が分からなくなり、救助要請する事案が発生しました。当時の視程は**約20メートル**で、「**濃霧注意報**」が発表されておりました。

➤ 霧発生時の注意点

◎見張りの強化と安全な速力

濃霧による視界不良時には、見張りの人員を増やしたり、レーダー等を用いて周囲の状況を確認するとともに、速力を落とし、早めの避航を心がけましょう。



◎霧発生時の出港の自粛

特にレーダーの無い船では、霧が発生している時や濃霧注意報が発表されている時は、出港を避けましょう。

◎「海の安全情報」等により現在位置を確認

海上保安庁が情報提供している「海の安全情報」サイトを活用して、霧などの気象情報を入手するとともに、自分のいる現在位置を随時確認しましょう。

